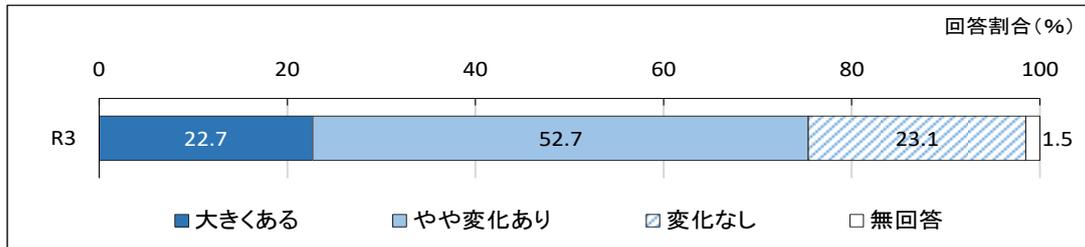


⑨ 新型コロナウイルスによる生活の変化について

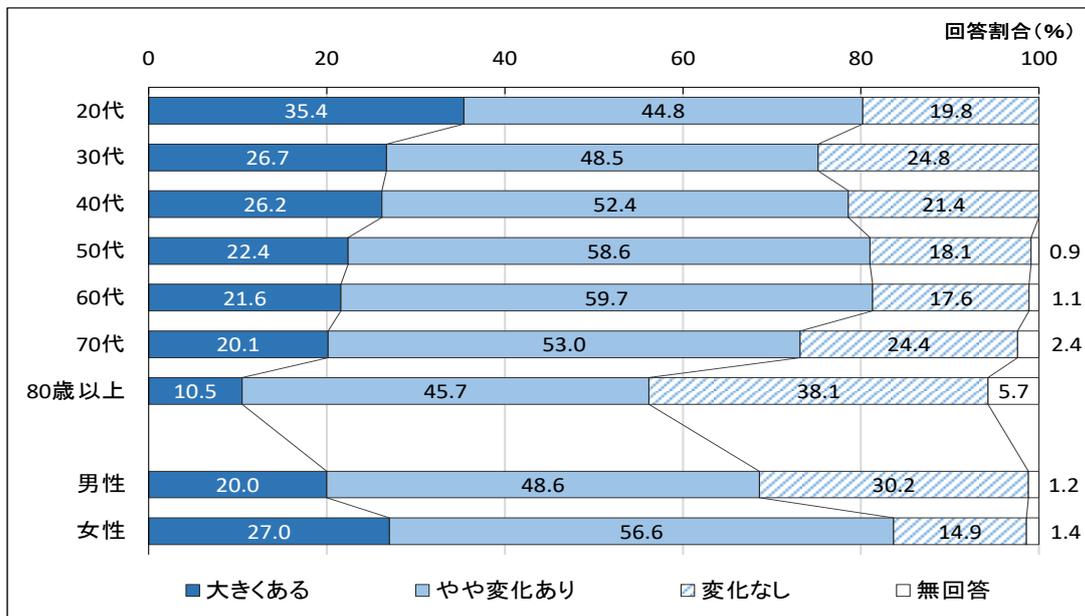
(38) 新型コロナウイルスの流行により、健康観や日常生活に変化はありますか。

「やや変化あり」の割合が52.7%でもっとも高く、これに「大きくある」(22.7%)を合わせた『変化がある』の割合(75.4%)は全体の4分の3を占めた。一方、「変化なし」は23.1%となった。



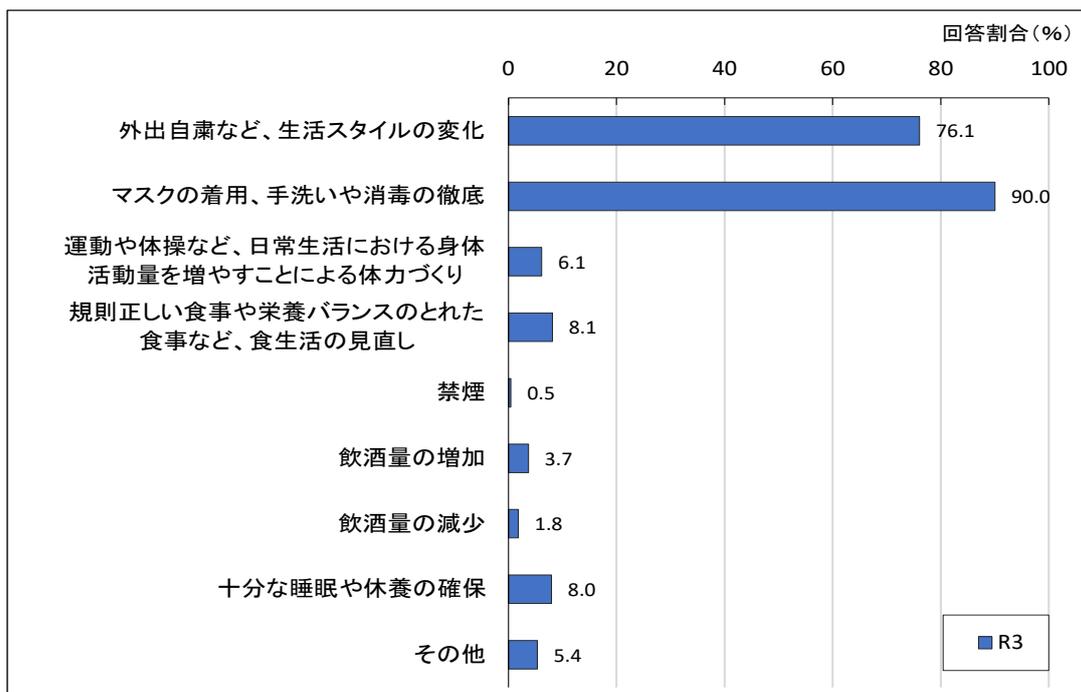
年代別にみると、『変化がある』の割合は、20代から70代までの各年代で7割台から8割台と高くなっている一方、80歳以上では5割台と、他の年代に比べてやや低くなっている。

性別でみると、「大きくある」の割合は男女ともに2割台ながら、女性の方でやや高くなっている。『変化がある』の割合も女性の方で高くなっていることから、女性の方が男性より強く変化を感じている様子がうかがえる。

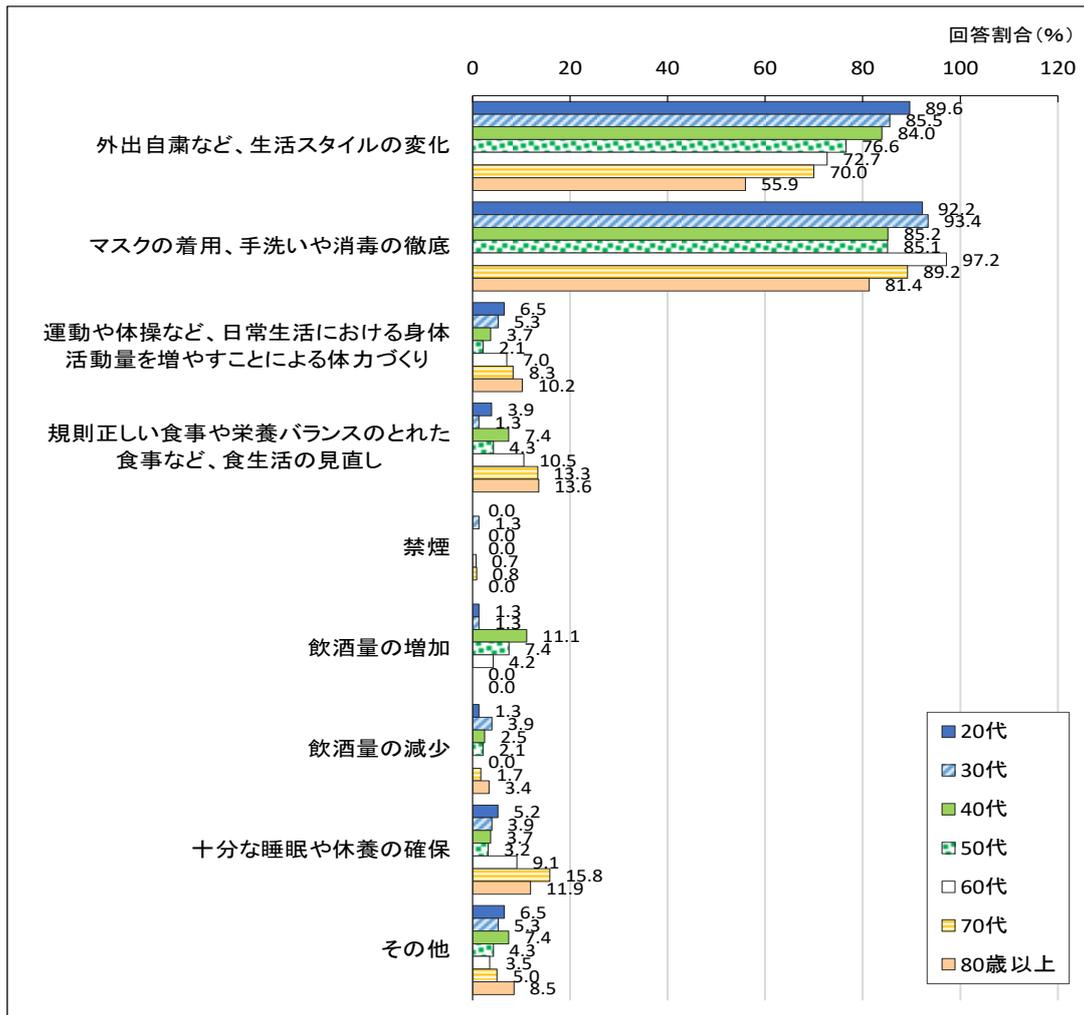


(39) (38)で「1. 大きく変化あり」または「2. やや変化あり」とお答えになった方にお聞きします。どのような変化ですか。(複数回答可)

「マスクの着用、手洗いや消毒の徹底」の割合が90.0%でもっとも高く、次いで「外出自粛など、生活スタイルの変化」が76.1%で続き、この2項目の割合が突出して高くなった。

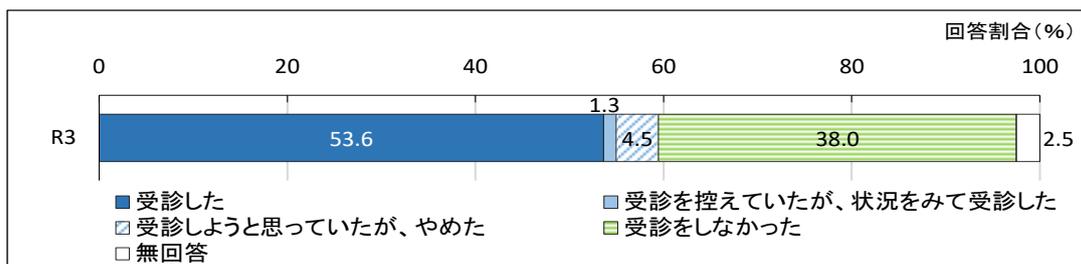


年代別にみると、すべての年代で「マスクの着用、手洗いや消毒の徹底」と「外出自粛など、生活スタイルの変化」の割合が高くなった。



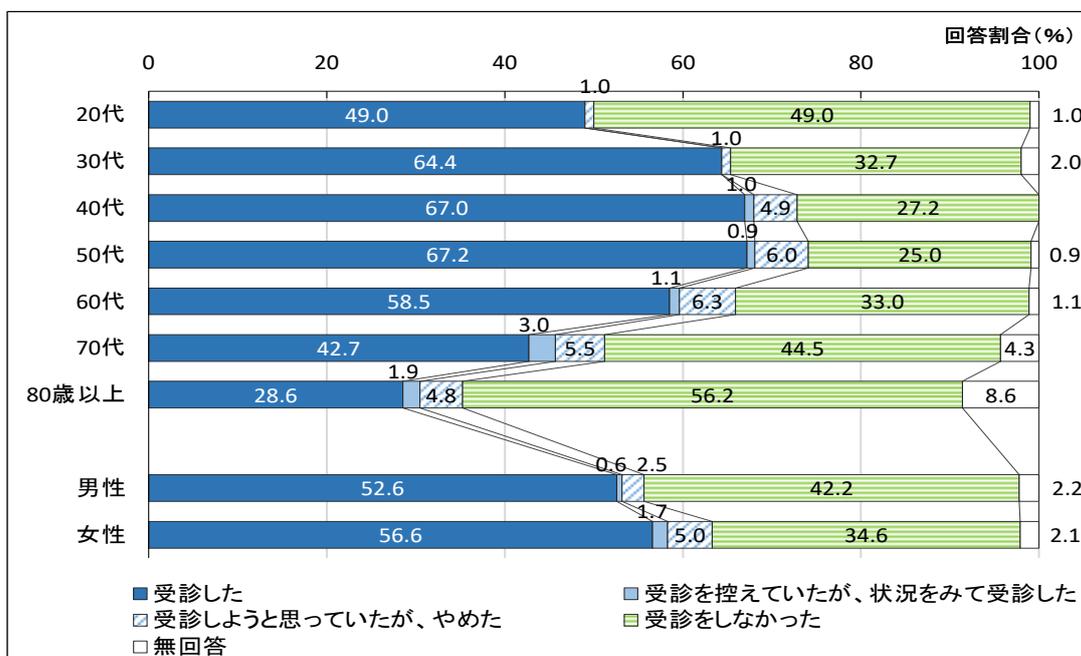
(40) 昨年度の健診やがん検診を受診しましたか。

「受診した」の割合が53.6%でもっとも高く、これに「受診を控えていたが、状況を見て受診した」(1.3%)を合わせた『受診した』の割合は54.9%となった。一方、『受診しなかった』(「受診しようと思っていたが、やめた」と「受診をしなかった」の合計)の割合は42.5%となった。



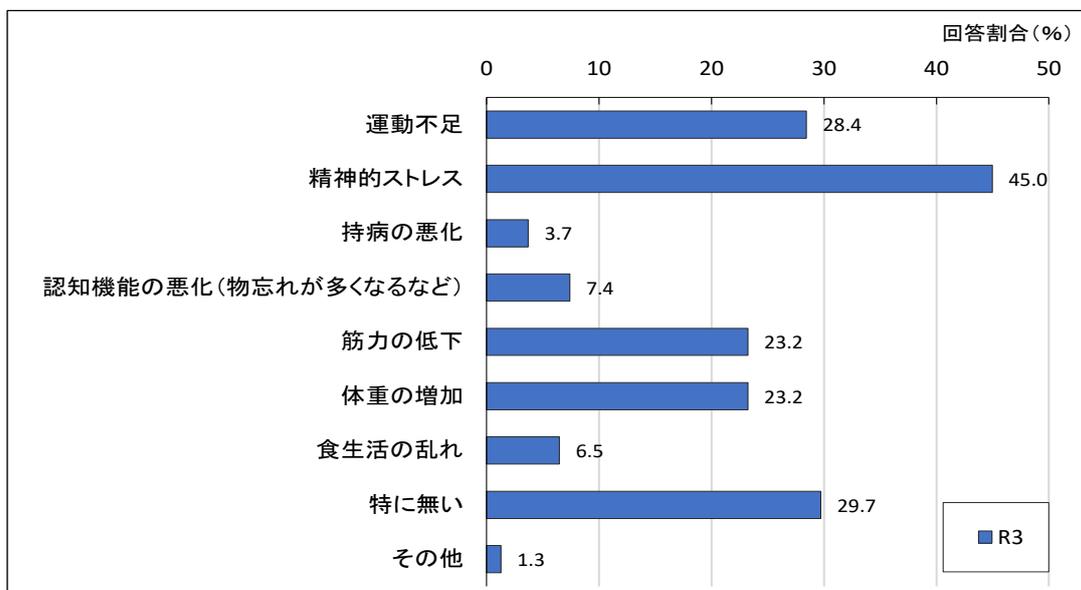
年代別にみると、『受診した』の割合は30代から60代までの各年代で5割以上となり、『受診しなかった』を上回った。

性別にみると、『受診した』の割合は男女ともに5割台となった。



(41) 感染予防のために不要不急の外出を控えることで健康面での不安は何ですか。

「精神的ストレス」の割合が45.0%で突出して高く、精神面への影響を不安視する意見が多くなっている。以下は、「運動不足」が28.4%、「筋力の低下」が23.2%、「体重の増加」が23.2%が続いた。一方、「特に無い」は29.7%となった。



年代別にみると、70代までの各年代で「精神的ストレス」の割合がもっとも高く、20代では7割近くと特に高い割合となっており、若い年代への精神面への影響が大きいことがうかがえる。一方、80歳以上では「特に無い」の割合がもっとも高くなった。

